

之を撮影し置きたるものゝ如し云々

譯者曰く市街若くは他の家屋に接して新たに家屋を建築するに際しては其基礎を作るがため深く根切をなすか或ひ強く地固めをなすに由て往々近隣の家屋を損傷せしむるあり或は又工事落成の後に至て接近の舊家屋に損傷あるを發見し其果して新工事に原由せる損傷なるか否や吾も人も其証左を得るに苦しむべき場合も随分無きにもあらざるへし甲の場合に其建築者の不注意より來る譯なれは致し方なきも乙の場合の豫防としての本文の事柄頗る参考とするに足るものと思はるゝなり

（以上二件 American Architect. Sep 1889 會誌）

○歐州各國鐵道急行列車一時間平均ノ速力 (Engineering News, November 2, 1889)

國名	中間停車スル片	中間停車ナキ片	國名	中間停車スル片	中間停車ナキ片
英國	四十一哩六六	四十四哩六〇	南日耳曼	三十一哩二〇	三十三哩〇〇
和蘭	三十二哩五〇	三十五哩〇〇	澳洲ハンガリー	三十〇哩〇〇	三十二哩〇〇
白耳義	三十一哩七五	三十三哩五〇	伊多利	二十九哩五〇	三十一哩七五
佛國	三十二哩八〇	三十六哩二〇	魯國	二十九哩〇〇	三十一哩六六
北日耳曼	三十一哩七五	三十四哩三三			

○英領カナタ、ニユソールト船渠（全上） 現今建築中ナル此船渠ノ大サハ長サ八百尺幅百尺深サ四十三尺半地覆深二十一尺水門ノ揚リ十八尺蓋シ三百五十尺ノ長サ幅四十六尺アル大船ヲ同時ニ四艘入レルヲ得ル大船渠ナリト